



ユーザ事例
クラウドサービス

Sunshine for your cloud
GMO CLOUD

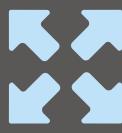
GMO クラウド株式会社

クラウド・ホスティング事業などを手掛けるGMO クラウド株式会社。ストレージの新たなサービスメニュー拡充のために、ネットアップのオールフラッシュストレージを採用しました。

パブリック クラウド「ALTUS」の新サービスを
「SolidFire」で構築。スケールアウトにより、
将来的な利用状況の変化に柔軟に対応。

GMOインターネットグループの一員であるGMO クラウド株式会社は、日本のインターネット黎明期からホスティングサービスを提供し、インターネットの発展に貢献してきました。現在では、クラウド・ホスティング事業に加えセキュリティ事業、ソリューション事業などを手掛け、幅広いユーザーのニーズに応えています。今回、クラウドサービスの主力である「GMO クラウド ALTUS (アルタス)」に SolidFire を新たに導入。高速ストレージメニュー「フラッシュディスク」として提供を開始しました。

コストパフォーマンスで選ばれる
パブリッククラウド



スケールアウトによって
性能と容量を拡張

IOPS

既存ストレージに対し

約**12**倍

お問い合わせ



“パブリック クラウドは、利用状況の伸びを予測するのが困難です。スケールアウト型のSolidFireならノードの追加で容量とパフォーマンスの両方をスケールでき、かつ追加時に構成を工夫することで性能と容量のどちらかを重点的に強化できるため、利用状況の変化にも柔軟に対応できます”

GMO クラウド株式会社

サービス運用部 システム運用セクション パブリッククラウドグループ

片柳 勇人 氏

自由度が高い クラウドサービスを提供

日本のインターネット黎明期である1996年から20年以上もホスティング事業を手掛けてきたGMO クラウド株式会社は、2011年にパブリック クラウドサービスの提供を開始しました。

同社の主力となっているパブリック クラウド サービスは、2014年にサービスを開始した「GMO クラウド ALTUS（アルタス）」です。「標準化」「互換性」「拡張性」の3つのキーワードをコンセプトとし、基本性能のみならず他のクラウド基盤との連携が容易にできることなどを意識して開発されました。このサービスには、コストの最適化を図りやすいリソース型の「Basicシリーズ」と、高セキュリティ環境の「Isolateシリーズ」の2種類があり、両シリーズを組み合わせての運用はもちろん、専用サーバと組み合わせたハイブリッド クラウドも容易に実現できます。

GMO クラウド サービス運用部 システム運用セクション パブリッククラウドグループのチーフを務める廣田峰雄氏は、その特徴を以下のように説明します。
「以前から提供しているパブリック クラ

ウドがコストを重視した内容で、主に個人ユーザーの方にご利用いただいているのに対し、ALTUSでは中上級者層を狙った仕様とし、幅広いユーザ層をターゲットとしている点が特徴です。一般企業や、中小規模のシステム開発会社などにもご利用いただいています」

「より速いクラウドを」という ユーザニーズに応え、 オールフラッシュを検討

ALTUSは提供開始後、契約数を順調に伸ばし、その用途も多彩なものとなっていました。単純なWebサイトだけでなく、社内向けシステム基盤やコンテンツ配信などにも使われるようになっていったのです。その結果、ALTUS上でデータベースを運用するユーザが増え、既存サービスに比べてストレージへの書き込み処理が多いなど、リソースの使用傾向にも変化が生じてきました。その傾向を受けて、ストレージ入出力性能についての改善を検討することにしたと廣田氏は言います。

「一般的に、より多くのユーザが同じサービスを利用するようになってくると、ストレージ入出力性能が厳しくなっていきます。ALTUSではデータベースを使うユーザが多いためそれが特に顕著

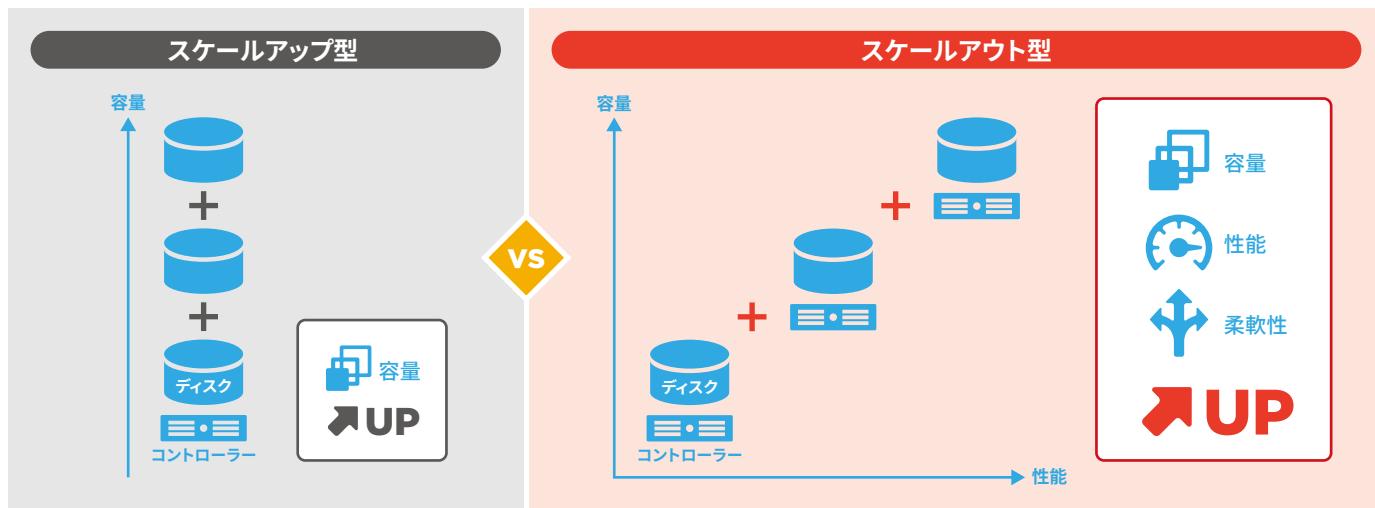
で、採用しているストレージがディスクを主体としたハイブリッド ストレージであるため、課題となっていました。そこで、『より速いクラウドを使いたい』というニーズを持つユーザに対して、提案できる材料を作ろうと考えたのです」

この課題の解決策として、容量単価が下がってきたオールフラッシュ ストレージの検討を開始したのは2015年末頃のことです。入出力性能のQoS管理が可能であることなどの条件で候補を選定、最終的にはSolidFireと、当初から利用していた既存ベンダーのオールフラッシュ ストレージが検討対象として残りました。

投資の柔軟性と 既存環境へ適合させるサポートで SolidFireを選定

候補となった2製品は、構成の上で大きく異なっています。SolidFireがスケールアウト型であるのに対し、他方はスケールアップ型。この違いが、選定時の大きなポイントとなりました。

「パブリック クラウドは、利用状況の伸びを予測するのが困難です。スケールアウト型のSolidFireならノードの追加で容量とパフォーマンスの両方をスケ



ルでき、かつ追加時に構成を工夫することで性能と容量のどちらかを重点的に強化できるため、利用状況の変化にも柔軟に対応できます。一方、比較対象となった機種は、単体での性能やコストなどは同程度でしたが、性能を強化する際には追加投資が大きくなる点が課題となりました」と話すのは、GMO クラウド サービス運用部 システム運用セクション パブリッククラウドグループで、ALTUS の構築や運用を担当する片柳勇人氏です。

しかしSolidFireにも不安材料がなかったわけではありません。既存環境はMultipath構成であるのに対し、SolidFireはBonding構成が基本となっていました。SolidFireの構成を変更する必要があったのです。この不安を払拭したのが、実機検証時のネットアップエンジニアのサポートでした。こうして選定されたSolidFireは、2016年8月に搬入され、10月から本番稼働を開始しています。

IOPS約12倍の高速ディスクとして提供、運用も容易に

SolidFireは、ALTUSのストレージメニュー「フラッシュディスク」として、Basicシリーズ、Isolateシリーズのどち

らでも利用できるようになっています。このフラッシュディスクメニューでは、SolidFireの高い入出力性能を活かすことで、既存ストレージによる「標準ディスク」に比べて約12倍のIOPSを設定しています。

このメニューを利用することで、ユーザはそれまで困難だった入出力負荷の高い用途にもALTUSを採用することが可能となりました。例えば、あるオンラインゲームサイトでは、フロント側にBasicシリーズを用いて拡張性を確保しつつ、バックエンドにはIsolateシリーズのフラッシュディスクで高速処理を実現するといった構成を利用しています。SolidFireの採用が、ALTUSのサービス全体としての魅力を高めることにつながったといえるでしょう。

「フラッシュディスクの採用ユーザは順調に増えてきています。SolidFireはスケールアウトしていくことで容量とともにパフォーマンスも向上するため、今後のユーザ増加にも安心して使っていくことができます。また、ディスクストレージの運用ではディスクの故障に伴う交換が日常的に発生するのですが、SSDを使っているSolidFireではそれがないのも大きなメリットです。SolidFire

は全体を管理するためのAPIやSDKも充実しており、運用に関するトラブルや不満もありません」(片柳氏)

既存サービスにもSolidFireを活用、環境を大きく変えず移行が可能に

さらにGMO クラウドでは、ALTUSに加えて以前から提供しているパブリック クラウド サービスでもSolidFireの利用を開始しています。ALTUSのように追加メニューとしてではなく、既存ストレージの保守期間が終了することから、その移行先としての活用です。

「SolidFireはネットワーク構成の柔軟性が高く、同じクラスタ内に異なるネットワーク構成を取り入れることができます。そのため既存システムに大きく手を加えることなく、旧ストレージから移行させることができます」(廣田氏)

GMO クラウドの今後のサービス展開のなかで、ネットアップ製品の役割はますます大きくなっていきそうです。



廣田 峰雄 氏
GMO クラウド株式会社
サービス運用部
システム運用セクション
パブリッククラウドグループ
チーフ



片柳 勇人 氏
GMO クラウド株式会社
サービス運用部
システム運用セクション
パブリッククラウドグループ



石田 勝彦 氏
GMO クラウド株式会社
企画開発部 企画グループ

ソリューションの構成

ネットアップ製品

SolidFire

パートナー製品

Accelerite CloudPlatform、
Citrix XenServer

代表的なVM環境

CentOS、Ubuntu、Windows
Serverなど

詳細はこちら

<http://www.netapp.com/jp/products/storage-systems/solidfire/index.aspx>

✉ お問い合わせ

03-6870-7400



ネットアップ株式会社

TEL: 03-6870-7600

Email: ng-sales-inquiry@netapp.com

ネットアップは、ハイブリッド クラウドのデータに関するオーソリティです。クラウド環境からオンプレミス環境にわたるアプリケーションとデータの管理を簡易化し、デジタル変革を加速する包括的なハイブリッド クラウド データサービスを提供しています。グローバル企業がデータのポテンシャルを最大限に引き出し、お客様とのコンタクトの強化、イノベーションの促進、業務の最適化を図れるよう、パートナー様とともに取り組んでいます。

詳細については、www.netapp.com/jpをご覧ください。
#DataDriven

© 2017 NetApp, Inc. All rights reserved.
記載事項は、予告なく変更される場合があります。
内容の一部または全部をNetApp, Incの許可なく使用・複製することはできません。NetApp、NetAppロゴ、SolidFireは、米国およびその他の国におけるNetApp, Incの登録商標です。その他記載のブランド・製品名は、それぞれの会社の商標または登録商標です。CSS-6983-0617-jaJP